

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 多機能型事業所 スマイスセレソンサポート別府 | | | | 公表日 | 令和8年3月16日 |
|----------|--------|--|-----|---------|--|------------------------------|-----------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | 3 | | ●クールダウンする部屋が欲しい | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 2 | ●限られた人員を最大限効率的に機能させられるよう、役割配置を決めて支援に当たっている | ●車の定員があるので、数台出す様になると職員数が足りない | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 0 | 5 | ●トイレが遠いということは大きな課題。登所前に排泄を済ませる、早めの声掛け、排尿気配の察知などに努めている | ●玄関に段差がある ●トイレが遠い | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 0 | ●掲示物、設置物など最小限に留め、(不要な)刺激の少ない空間の設定に努めている | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 3 | ●個室はないが、間仕切り等を使っている ●こどもの状況に合わせ、クールダウンする為の場所の提供・活用ができるようにしている | ●個室があるといい | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。 | 6 | 0 | ●職員全員で話し合う時間を定期的に設けている | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | ●評価表で得られた保護者からのニーズに対し、どのようにすれば応えることが可能か、全員で共有し、事業所として検討している | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | ●どの職員も自由に発言できる環境・関係の構築に努めている ●意見があれば、即時全体で検討を行っている | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | ●保護者、各連携機関などからの意見や感想などを伺い、事業所全体で共有した上で改善に繋げている | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | ●経験年数などに合わせ、法人内・事業所内での研修・勉強会に参加させている | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 0 | ●作成し、自社HPIにて公表している | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | 0 | ●アセスメントについては定期的に行い、保護者のニーズと本人の状況・状態をできる限りの確・客観的に捉え、計画に反映させている | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 0 | ●すべての支援計画において、児発管を中心に、全職員で内容を精査している | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | ●計画作成時に内容を全体で共有するほか、必要に応じて閲覧が可能な状況になっている。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 0 | ●事業所での行動観察の他、所属園での行動、家庭での行動などの聞き取り及びアセスメントシートなどを用いた評価で確認している | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 0 | ●「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の項目を個別支援計画に設定している | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | 0 | ●主に活動を行う職員を日替わり・週替わりでローテーションすることも含め、全員で活動を立案・実行している | | |

| | | | | | | |
|----|--|---|---|---|--|-----------------------------|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 0 | ●同じ活動でも季節感を持たせるなど、ワンパターンにならない様工夫している | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 0 | ●全員が一堂に会するタイミングが昼食時しかないため、その時間を用いて毎日ミーティングを行っている。そこで、午前の振り返り及び翌日午前の打ち合わせ、前日午後の振り返りと当日午後の予定の確認等を行うようにしている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 0 | ●こども一人一人に対して、その日の支援の記録を取っている | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 0 | ●定期的にモニタリングを行い、できるだけ対面で保護者に評価を伝えている。来所・訪問が難しい場合はTV電話も活用している | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | ●児発管、日々直接支援を行いそのこどもについてよりよく把握していると考えられる職員を参加させている | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 0 | ●積極的に関係機関と連絡を取っている。定期的な会議以外でも相互に連絡を取り合い、関係機関として統一された支援ができるよう努めている | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | ●どの子においても、将来的に前向きな利用を目指し、移行に向けての支援を意識している | ●相談支援ファイル「ゆけむりん」も今後活用していきたい |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | ●情報提供書の作成・提出に努めている | ●「ゆけむりん」を今後活用していきたい |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | ●参加出来ていない |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 1 | ●センターとの連携はできていないが、同業他事業所及び相談支援事業所の熟練職員あるいはセラピスト等の有資格者からの助言を受けている | ●センターとの連携は現在のところできていない |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 2 | ●イベントと銘打って行っては行っていないが、同世代のこどもに事業所に来てもらい、一緒に活動することは不定期に行っている | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 0 | ●直接顔を合わせる機会が少ないため、保護者向けの日々の記録は丁寧に記載する事を心掛けている。また、LINEを活用し、特筆すべきこと、気になることは随時連絡を取りお伝えしている | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 3 | | ●ニーズが多いことは把握しているが、これまで実施できていない。次年度は実施したい。ペアプロの実施を検討している。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 0 | ●特に利用者負担については、不安の軽減・利用後のトラブル発生を抑止の為に、丁寧な説明を心掛けている | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | ●アセスメントは丁寧にしている。できるだけ来所を求めているが、それが難しければ、居宅への訪問、テレビ電話等を活用している | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---------------------------------------|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | ●説明の機会を必ず得て、支援計画を双方で確認しながら説明を行い、同意を得る様に行っている | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | ●ご家族から相談があった際はもちろん、事業所内で気になることがあった際にはこちらからご家庭に報告し、必要に応じて助言を行っている | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 4 | | ●ニーズはあるが、実施できていない。保護者・きょうだいへの支援を行って行く必要性は感じている |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | 0 | ●LINE、記録アプリ等を活用し、個別に相談等ができることは日々案内を行っている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 0 | ●毎月の活動予定を配信している。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | ●十分に留意している。書類管理の他、LINE等の送信先・送信内容、対面での会話における他者の情報など、細心の注意を払っている | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | 0 | ●必要に応じて絵カード等の視覚提示ツールや手話を活用している。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 4 | ●立地の関係で、地域の方と遭遇することは多く、挨拶やそこから派生するコミュニケーションは丁寧に行っている | ●行事等の開催が少なく、招待するに至っていない |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 1 | ●テナントとして入っている商業施設自体の避難訓練への参加等も含め、水害・地震等に備えた訓練を実施している | ●実施しているが不十分 ●マニュアルの策定が追いついていない部分がある |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 2 | 2 | | ●訓練は行っているが不定期 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 0 | | ●現在のところ、対応が必要なこどもがいないため確認をしていない。今後必要に応じて情報提供をもとめ、適宜対応していきたい |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 0 | ●利用開始時に食物アレルギー有無についての確認を行っている | ●現在のところ、対応が必要なこどもがいないが、今後必要に応じて対応していく |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 0 | | ●こどもの安全の確保は最優先としているが、計画等の作成は不十分 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 2 | | ●計画の作成・周知の必要がある |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 0 | ●ヒヤリハットの事例について、発生があれば報告・記録をし、全体で共有している。再発防止策についても、全員で協議し、対応している | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 1 | ●研修の機会があれば積極的に参加を促している ●過去の事例などを基に、適切な対応について事業所内で検討会を行っている | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | 0 | ●契約時に必ず保護者に説明を行うとともに、個別発達支援計画に記載をしている | | |